

授業科目 成人看護援助論 I (1) 運動器	区分・教育内容		
	専門分野 II 成人看護学		
授業担当者 長山 和子 (中通総合病院)	開催時期	単位	時間数
	中期	1 単位	10 時間 / 30 時間
授業の目的 運動機能障害をもつ対象を理解し、症状・治療に応じた看護ができる能力を養う。			
授業の目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 運動機能障害の症状の成因と患者に及ぼす影響がわかる。 2. 運動機能障害の症状を持つ患者への適切な看護がわかる。 3. 障害を持つ患者の心理を理解する。 			
授業概要 成人期の健康障害の中で、骨・関節・筋疾患ならびに脊髄疾患に伴う運動機能障害に対して整形外科的治療を受ける患者の看護を学ぶ。 リハビリテーションにおける各専門職との連携を学び、障害された運動機能及び、その人らしい生活を再獲得するための機能回復への援助、精神的援助、社会資源活用について学ぶ。 成人期の看護に必要な看護技術について、より安全で安楽な技術を提供するための留意点を考え、患者の状況に応じた援助方法について学ぶ。			
授業計画 (進め方) <ol style="list-style-type: none"> 1 回目 整形外科疾患の援助のための主な知識と技術 2 回目 保存療法を受ける患者の看護 3 回目 手術を受ける患者の看護 4 回目 経過に応じた患者の看護 5 回目 疾患を持つ患者の看護 			
テキスト 系統看護学講座 専門 II 運動器 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験 成人看護援助論 I 100 点満点中の 30 点			

授業科目 成人看護援助論 I (2) 脳神経	区分・教育内容		
	専門分野 II 成人看護学		
授業担当者 工藤 真弓 (専任教員)	開講時期	単位	時間数
	中期	1 単位	12 時間 / 30 時間
授業の目的 脳神経機能障害を持つ対象を理解し、症状・治療に応じた看護ができる能力を養う。			
授業の目標 1. 脳神経機能障害の症状の成因と、患者に及ぼす影響がわかる。 2. 脳神経機能障害の症状を持つ患者への適切な看護がわかる。			
授業概要 脳・神経は生命維持・身体機能の中枢である。脳・神経が障害されることで、人間の身体にどのような変化が現れるのか、また身体的、精神的、社会的影響を考え、さまざまな障害を抱えながらそれぞれの生活・人生において生きがいや満足感を高めていけるよう適切な看護の方法について学習する。 看護活動では、脳神経疾患の病態生理の知識の上にたって、看護の意義に立ち戻りながら実際の看護実践につなげられるように理解を深めてほしい。 事前学習として「人体のしくみと働き I・II」や「病態と診療 I (1) 脳神経」の授業をもとにワークブック (p. 279～292 V—6 脳神経 構造と働き) に取り組むことを勧める。			
授業計画(進め方) 1 回目 患者の特徴と看護の役割 2 回目 症状・障害を持つ患者の看護 : 意識障害 3 回目 症状・障害を持つ患者の看護 : 言語機能障害・高次脳機能障害 4 回目 検査を受ける患者の看護 (脳波検査・髄液検査・血管撮影) 治療処置を受ける患者の看護 (手術療法を受ける患者の看護) 5 回目 疾患をもつ患者の看護 (急性期の看護 回復期の看護)			
テキスト 系統看護学講座 専門 II 脳・神経 医学書院			
参考書・指定図書 周手術期看護 学習ワークブック メヂカルフレンド社			
評価の方法 筆記試験および課題・授業態度により総合的に評価する。 成人看護援助論 I 100 点満点中の 45 点			

授業科目 成人看護援助論 I (3) 女性生殖器・乳腺	区分・教育内容		
	専門分野 II 成人看護学		
授業担当者 齊藤 豊子 (専任教員)	開講時期	単位	時間数
	中期	1 単位	8 時間 / 30 時間
授業の目的 性機能障害をもつ対象を理解し、症状・治療に応じた看護ができる能力を養う。			
授業の目標 1. 女性生殖器疾患の病態、症状、検査、治療について理解し、患者に及ぼす影響がわかる。 2. 女性生殖器疾患をもつ患者への適切な看護がわかる。			
授業概要 女性生殖器疾患によって生じる生殖器の障害は、臓器だけでなく、女性のライフサイクルをも変化させてしまう。そのため女性の健康障害に対する看護においては、ライフステージの特徴を理解し、身体的、精神的、社会的問題に留意しながらきめ細かい看護について学習する。			
授業計画(進め方) 1 回目 1. 医療の動向と患者の特徴 2. 症状とその病態における看護 (月経異常・性器出血・帯下・疼痛) 2 回目 3. 臓器別・疾患別看護 1) 外陰部、陰疾患 2) 子宮疾患 (子宮筋腫 子宮頸がん・体癌) 3) 卵管の疾患 (異所性妊娠) 4) 卵巣疾患 (卵巣がん) 3 回目 4. 主な治療処置の伴う看護 1) 診察 2) 検査 3) ホルモン療法 4) 放射線療法 5) 手術療法 4 回目 5. 乳癌患者の看護 1) 検査 (マンモグラフィ、乳房超音波検査) 2) 乳房切除術をうけた患者の看護			
テキスト 系統看護学講座 専門 II 女性生殖器 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験 成人看護援助論 I 100 点満点中の 25 点			